

各基本目標における総合戦略事業のKPI（重要行政評価指標）の状況、及び主な取り組み成果は次のとおりです。なお、各事業の詳細な取り組み内容や成果・課題、KPIの達成状況に関する分析については、各事業の取り組み状況点検シートをご覧ください。

基本目標	総合戦略事業名	決算見込額 (単位：円)	KPI (重要業績評価指標)		KPIの達成状況 グラフの凡例 —●—実績値 —●—目標値	内部評価 結果	事業実施状況と主な取り組み成果	KPIに対する 事業効果 (外部評価)	
			R5目標値	R5実績値					
基本目標1	エコノミックガーデニング推進事業 【第一次実計：132ページ】 【点検シート：3ページ】	76,707,065	相談・支援企業数（経営課題整理、事業計画、事業継承）（件）	18	30		取り組みは有効である	<ul style="list-style-type: none"> ▼平塚信用金庫と連携協定に基づき、町内中小企業の成長促進のため、月1回の定例会を通して、相互支援を実施した。また、事業承継セミナーやWeb創業応援セミナーを共催で実施した。 ▼町内企業（大企業も含む）の増設に向け、企業立地等に関する税制優遇支援の相談を実施した。 ▼創業セミナーのオンライン化（動画）したことにより年間通じてセミナーの受講機会を創出し、受講者が増加した。 ▼町商工会と連携し、経営分析セミナー、DXセミナーを実施した。また、事業計画策定セミナー、創業支援セミナーを共催で実施した。 ▼町商工会及び日本政策金融公庫と連携し、金融・経営相談会を実施した。 ▼寒川エコノミックガーデニング推進協議会主催で寒川町デジタル活用セミナー及び中小企業支援制度活用セミナーを共催で実施した。 ▼特定創業支援事業修了者を対象とした、創業支援融資の利子補助金支援を実施した。 ▼事業者支援としての住宅リフォーム等建築工事推進助成事業を実施した。 ▼寒川町にぎわい創出支援事業補助金を交付し、地域の活性化に対するスタートアップを支援した。 ▼2市1町の広域事業で、湘南ビジネスコンテストを開催し、創業を支援した。 ▼産業振興課内に経営等に関し専門的な知識を有する中小企業診断士3名を「寒川町地域経済コンシェルジュ」として委嘱・設置し企業総合支援を実施した。 ▼中小企業活性化事業補助金、信用保証料補助金、施設整備資金特別融資利子補助金、事業資金融資利子補給金等の各種補助金支援を実施した。 	
			創業者数（件）	24	25				
			小売業店舗数（件）	217	204				
			製造業で法人町民税の法人割を納めている企業数（件）	102	99				
基本目標2	観光推進事業 【第一次実計：133ページ】 【点検シート：5ページ】	22,678,980	観光客数 (単位：万人)	200	216		取り組みは有効である	<ul style="list-style-type: none"> ▼町観光協会と連携し、各種事業展開を行った。町観光協会においては、ツアーや冬のひまわり等様々なイベント等を開催し、寒川町のPRに取り組んでいる。 ▼広域の事業としては、東京スカイツリーで開催されたOZの女子旅EXPO2023にブースを出店し、パンの販売や冬のひまわりの写真を活用したクリアファイル等の配布等を通じて湘南地域のPRを行った。女性をターゲットとしており、イベント参加の満足度も高く、イベントに参加された方の多くが旅行に行きたくなったとアンケートで回答があった。 ▼スルガ銀行と湘南地域自転車観光推進協議会（寒川町含む）で協定を結び、スルガ銀行のSNSで湘南地域のスポット紹介やPRを実施。シェアサイクルの利用実績は、利用回数3,958回、利用者数1,413人、稼働自転車台数1,162台。 	
	タウンセールス推進事業 【第一次実計：133ページ】 【点検シート：7ページ】	47,715,313	町に対して良いイメージを持って転入した人の割合（％）	77	80		取り組みは有効である	<ul style="list-style-type: none"> ▼ポータルサイトアクセス数は目標値である18,000アクセスを大きく上回る92,801アクセス（目標値+74,801アクセス）となった。 ▼「記念広報誌贈呈事業」は、63件（前年比+32件）申請をいただいた。また、町内外の結婚式場（横浜ベイシエラトンホテル&タワーズ等）のPR協力を得ることができ、記念広報誌見本等の配架やショーケースでの展示を行うなど、効果的な町外プロモーションに繋げることができた。 ▼移住相談機能の充実を図るため「高座」のこころ。実行委員会及び移住サポーターによる相談対応を実施し、相談件数は10件だった（前年同数）。 ▼転入者におけるブランド認知度についても、5人に1人程度の割合で認知していただいている状況。（転入前にポータルサイトなどで寒川を調べた：16.9%（前回:16.7%）） ▼可視化を通じたブランド醸成として、給食センター各種サイン、給食センター配達車グラフィック、町の花「すいせん」制定50周年記念ステッカー、「高座」のこころ。ガイドブックリニューアルなど約50点の媒体への可視化を行った。 ▼フィルムコミッションでは、過去最高の成約件数である23件（前年比+1件）を獲得し、地域の方のエキストラ出演など、貴重な社会体験の場を創出するなどシビックプライドの醸成に資する取り組みを行った。また、令和4年11月より開始した町民エキストラ登録制度においては、令和5年度は747名の方から申請をいただき総数で813名の方から登録いただいた。 ・昨今、ネットメディア利用者が増えていることから、通常のプレスリリースに加え、PR Timesを活用したプレスリリースを実施した。令和5年度は、12本のプレスリリースを配信し、386WEBメディアに掲載、28,446アクセスとなった。 	

各基本目標における総合戦略事業のKPI（重要行政評価指標）の状況、及び主な取り組み成果は次のとおりです。なお、各事業の詳細な取り組み内容や成果・課題、KPIの達成状況に関する分析については、各事業の取り組み状況点検シートをご覧ください。

基本目標	総合戦略事業名	決算見込額 (単位：円)	KPI (重要業績評価指標)		KPIの達成状況 グラフの凡例 — 実績値 — 目標値	内部評価 結果	事業実施状況と主な取り組み成果	KPIに対する 事業効果 (外部評価)	
			R5目標値	R5実績値					
基本目標3	結婚・出産・子育て環境整備事業 【第一次実計：134ページ】 【点検シート：10ページ】	254,011,406	子育て支援センター利用者数（人）	9,610	7,986		要改善	▼コロナ感染症の5類への移行に伴い、支援センターの利用時間・人数の制限を緩和・撤廃したことで、個別に相談支援を行う機会を増やすことができた。またコロナ対応で得たスキルである、利用経験や相談履歴がある方への電話や手紙等による状況把握も継続して行った。乳児全戸訪問308件、養育支援訪問のべ22件、子育て支援相談員による子育て相談のべ710件実施し、子育て支援や児童虐待の防止に努めた。 ▼健診受診が途切れがちな妊婦へ電話による健診受診を促す支援と、健診費用補助券が使えなかった場合の償還払いを行い、妊婦健診の適切な受診行動へつなげることができた。令和5年2月から伴走型相談支援を実施しており、これまで以上に妊婦に寄り添った支援が展開できるようになった。 ▼母子保健コーディネーターが窓口や電話により、切れ目のない寄り添った支援を継続的に行った。母子保健コーディネーターが令和4年度は欠員が生じていたが、令和5年度は当初から3人体制となり、継続支援延べ件数は3,674件で、前年度より1,580件増加した。 ▼新規開所に向けての、支援や施設整備に対する補助を行ってきた小規模保育事業が令和5年4月に開所したことに伴い、保育所の定員増を図ることができた。令和7年4月に認定こども園として開所予定の幼稚園が2ヶ年計画で改修工事等を行っている。初年度である令和5年度は計画どおり工事等は進んでおり、施設整備に対する補助を行った。認可保育所2施設が行ったフェンス等修繕工事等に対して補助を行い、防犯対策の強化を図った。 ▼寒川小学校校区は給食がセンター調理方式となることから、給食調理場の余裕スペースを利用し増設工事に着手することができた。工事終了後の令和6年3月には設備の整備や備品等を購入し、環境を整えたくうえ令和6年4月から定員を40人増員できた。	
			子育て支援センター利用者の満足度（%）	100	94				
			待機児童数（保育園）（人）	0	2				
			待機児童数（児童クラブ）（人）	0	8				
魅力的な教育環境推進事業 【第一次実計：134ページ】 【点検シート：13ページ】	169,785,536	英語の勉強が好きな子どもの割合（%）	66	68		取り組みは有効である	▼外国語の授業だけでなく、休み時間や部活動の時間等、FLTとの触れ合う時間が長くなることで、英語でのやり取りする機会が増え、児童生徒の英語や外国の文化等への関心・意欲が高まっている。 ▼町内小・中学校において、全国平均よりも大幅にICT機器を授業に積極的に活用する姿が見られる。また、会議等の校務においてもタブレット端末を利用した取組が見られる。 ▼教職員研修会で学んだことを学校現場で活かそうとする姿が見られたり、研修会の講師を外部講師として学校に招いて授業を展開したりするなど、教職員が自らの資質向上に取り組んでいる様子が見られる。コロナ禍明け、教職員研修会では従来の集合研修の形で行ったが、たくさんの教職員が参加することができた。教職員研修会後のアンケートの回収方法については、グーグルフォームを活用することで、集約しやすくなった。		
		全国学力・学習状況調査における課題解決に向けて自ら考え、行動する子どもの割合（%）	77	82					
基本目標4	安心なまちづくり整備事業 【第一次実計：136ページ】 【点検シート：15ページ】	30,389,436	空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数 (単位：件)	71	67		取り組みは有効である	▼犯罪抑止を図るため、一之宮分庁舎（防犯連絡所）を拠点とした防犯アドバイザーと防犯相談員による町内全域の青色回転灯装備車でのパトロールを行った。 ▼倉見駅南側駐輪場に防犯カメラを設置した。 ▼夜間の犯罪などの抑制を図り、安心なまちづくりを推進するため、防犯灯10灯を設置した。 ▼茅ヶ崎警察署生活安全課講師による防犯講話を行った。	
	若者参画推進事業 【第一次実計：136ページ】 【点検シート：17ページ】	360,000	若い世代による協働に向けた取り組み件数（累計） (単位：件)	9	12		取り組みは有効である	▼「まちづくり懇談会若者・子育て世代編（東京応化工業(株)労働組合）」を開催し、指標を上回る結果となった。 ▼みんなの協働事業提案制度における採択事業では、若者の実施団体が町内の教育・保育施設等で音楽会を開催した。団体が作成した音楽プログラムを行い、未就学の子どもたちが生演奏やリトミック、映像・伴奏付き読み聞かせ等の体験をすることができた。	
	快適なまちづくり推進事業 【第一次実計：136ページ】 【点検シート：19ページ】	65,199,059	1ヶ月あたりのコミュニティバス利用者数（人）	4,320	5,265		取り組みは有効である	▼コミュニティバス・海老名駅-寒川駅間路線バスの利用促進のため、町公式Lineアカウントにて公共交通メニューの追加や、Googleマップのルート検索に対応出来るようにし、利用促進を図った。Googleマップによるルート検索は、交通サービス利用者の多くが利用するものであり、これまでコミュニティバスを認知していなかった層も含めて利用促進・普及・啓発に取り組むことが出来た。	

※KPI（重要業績評価指標）・・・各事業を実施した結果、「何がどうなったか（どれだけの効果があったか）」を示す指標

※目標値もしくは実績値が「-」となっているものは、当該年度に目標値設定がないもの、もしくは特段の事情により実績値を計測できなかったものです。

※内部評価結果：「取り組みは有効である」「要改善」「有効ではなかった」